



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

4月の意向

- 教皇様の意向のために祈りまじょう
- 【一般】エコロジーと正義
 - 【宣教】病者の希望
 - 【日本の教会】新生活の希望

2014年度福岡教区年間目標発表
今年度の目標は「信仰の伝達」

主イエス・キリストからの恵みと平和が福岡教区民の上に豊かにありますように！
2014年も、もう3ヶ月が経過しました。本来なら年間目標と新年の挨拶を「教区報」1月号でお知らせするのが恒例でしたが、年度初めの4月に発表する方が好都合であるとの司祭団からの多数意見により、今年から変更になりましたのでご理解とご協力をお願いします。

3年間の取り組み

福岡教区では、この3年間、『キリストの救いの秘儀を①知り（信仰生涯学習）、②追体験し（典礼祭儀の充実）、③生き（家庭と社会生活での実践）、④伝える（福音化）」というテーマを教区の優先課題として掲げ、『信仰生涯学習』に励んでまいりました。特に、3年間の後半は、「信仰年」の

今年度の取り組み信仰の伝達

取り組みによって様々な側面で活性化が見られ、昨年の「教区の日」には、各小教区や各地区で取り組んだ具体的な活動やその実りが報告されました。教区の目標に誠心誠意励んで下さっている教区民のご尽力に、心からの敬意と感謝を申し上げます。

教皇フランシスコ 世界青年の日メッセージより

…イエスの福音の中心となるテーマは、神の国です。イエスは、人となられた神の国です。イエスは「インマヌエル」、わたしたちとともにおられる神です。神の国、神の統治がもたらされ、発展するのは、人間の心の中にはかなりません。神の国はまた、恵みであり約束でもあります。それは、イエスにおいてわたしたちにすでに与えられています。が、まだ完全に成就されていません。だからこそ、わたしたちは御父に日々「み国が来ますように」と願ひ求めるのです。

貧しさと福音宣教の間には、強いきずがあります。つまり、昨年の世界青年の日のテーマ「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい」（マタイ28・19）と今年のテーマ「心の貧しい人々は幸いである、天の国はその人たちのものである」（マタイ5・3）は深く結びついているのです。主は貧しい教会が貧しい人に宣教することを望んでおられます。12人の弟子たちを派遣する際、イエスは彼らにいます。「帯の中に金貨も銀貨も銅貨

招きながら、今後私たちが進むべき道筋を示しています。「総てのキリスト者は、どのような場や状況の中でも常にキリストに直接触れる人格的な出会いを新たにするように呼びかけられています。キリストが差し出す救いは、それを受け入れる者に、罪と悲しみ、内的な虚しさや孤独からの解放をもたらす、そのようなキリストの出会いには、心と生活全体を喜びで満たします。喜びは常にキリストと共に生み出され、新たにされます。喜びと善は常に広がっていくものであり、喜びと善は分かち合うことによって根付き、発展するのです。いのちを自分を与えることによって成長しますが、孤立した楽な生活は衰えるだけです。他者にいのちを与える時にこそいのちは得られ、成熟するのです。これが福音宣教です」「使徒的勧告『福音の喜び』1

も入れて行つてはならない。旅には袋も二枚の下着もはきものも杖も持つて行つてはならない。働く者が食べ物を受けるのは当然である」（マタイ10・9-10）。福音的な貧しさは、神の国が広がるための基本条件です。わたしがこれまで見た中でもっとも美しく自然な喜びは、執着するものがほとんどない貧しい人の喜びです。現代の福音宣教は、喜びが広がることによって初めて実現するのです。心の貧しい人の幸いは、わたしたちと神の関係、わたしたちと物の関係、さらには、わたしたちと貧しい人の関係を方向づけるものです。イエスの模範

とことばは、回心することとどんなに必要か、また、存在するための論理が所有するための論理に勝るようになることがいかに必要かに気づかせてくれます。真福八端の深い意味を理解するにあたり、諸聖人は大きな助けとなります。その意味で、復活節第二主日に行われるヨハネ・パウロ二世の列聖式は喜びに満ちあふれる式典となるでしょう。ワールドユースデーを開始し、促進してきたヨハネ・パウロ二世は、この日の偉大な保護者となるでしょう。今年の4月は「あがないの聖年の十字架」が若者に託されてから30周年にあたります：

時の話題

山頭原太郎神父

90歳になるのだから何か書いたら、と言われてペンが執つたが頭は動きません。今は、老化して仕事はできないことは分かっています。ですが、仕事をしないことの辛さを味わっています。こんな時に声をかけていただくことのありがたさを感じています。感謝しても、足りないほどです。毎朝6時に「司祭の家」で、ミサを捧げてい

ます。多くの方々への感謝の祈り、またお詫びをさせていたいております。この時が最も充実したものを覚えています。「凡人はヒマがあれば不善をなす」とか聞いたことがあります。恥ずかしい話ですが、不満を吐く一日と言われる生活です。つまり相手に対する眩きを自分に向けたら四旬節にふさわしい毎日の生き方になるのに、と思います。そこでストップです。あまりにも情けないと思つて近頃は浄水通教会で祭壇の近くまで行つて、大声を張り上げ、「天におられる私たちの父さん！」と祈るといふより、叫んでおります。イエス様だ

追悼と再生を願う合同祈禱会



大震災を、被災者のことを忘れない！
当日は震災6強の揺れを感じた。原発問題は、今回のことが起こらなければ、自分にとって対岸の火事であり、このフアリサイ人のように実際に苦しむ悩む人々を横目に見て、自分とは関係ないとしていたであろう。震災を通して、多くの方々から励めや励ましをいただいたと同時に、多くの課題を突き付けられた。遠い場所で行ったこととしてではなく、私たち自らの問題として徴税人のように「神よ、罪人の私をあわれんでください」と祈ろうと語った。聖堂内には、チェロやギターの音色も響き、テゼの歌などをとおして、超教派による静かな雰囲気の中、被災者や亡くなった方々への熱い祈りが続いた。参加者の一人は、「あらゆる教派のクリスチャンが集って、一つになり、被災者のために祈りを捧げたことに感動しました。今なお苦難の中にある方々のことを忘れてしまわないように、今後も祈り続けたいと思います」と語った。



ある信徒の方が私に問われた。「神父様、地獄はあると思いますか。」「イエス様が『・・永遠の火に入れ』とか『地獄では・・』と言われてるので、あるのではないのでしょうか。」「はい。でも、イエス様はすべての人が救われるのを望み、十字架で犠牲となられました。だから、ある呪われた者がそこに行くとは断定できないのではないですか。」「小さい頃、そんなことをしたら地獄に落ちるぞ、と言われていたことがある。子どもながらも死後は恐ろしい世界が広がっているかもしれない。だから、よい行いをする人間にならなければならぬ、そんな風に考えていた時期があった。後で天国も地獄もどこか場所ではなく状態だと言われて納得した。実際、地獄とは、神の愛を拒絶した状態であるとするれば、また天国が、神の愛に包まれた状態であるならば、それは、すでにこの地上に存在するのだ。」「主よ、私があなたを愛するのはあなたが天国を約束してくださったからではありません。あなたがにそむかないのは地獄が恐ろしいからではありません。主よ、あなたの愛が私を揺り動かすのです。ですからたとえ天国がなくても主よ、私はあなたを愛します。たとえ地獄がなくても私はあなたを畏れます。」「聖フランシスコ・ザビエルがこの祈りは、人間の行為の報いとしての来世ではなく、十字架に表れているキリストの愛に対する応答であると言えよう。四旬節、何か神と取引するような信仰ではなく、神が神であるがゆえに信じ、愛する、そんな信仰の恵みを願いたい。 M

福岡教区に派遣されて17年間

川添猛神父の「礼状」

1日の仕事を終え、2階の寝室でほっとしていたら電話が鳴りました。「わたしは5年前に熊本に來たんですが、教会にはご無沙汰している信者です。今年のクリスマスにはお参りしたいと思いますので、帯山教会の電話番号を教えてください。」「382-9413です。」「ありがとうございます。」電話を切り、何か満たされた気分です。翌朝、葉を飲みながらふと「きのうの電話のやり取り、ふたりともどこかおかしかったんじゃないかな」と思い始め、あの満たされた気分が蒸発してしまいました。わたしは、改めて確信したのです。天の声か人の声かは定かではありませんが、82歳の神父の限界を促す声だったと。

契約とか派遣社員というのは正社員に対してのランク付けのようですが、長崎教区から派遣され、司祭として17年間奉仕させていただきました。

疲れているのは、信徒の皆さんでしょう。年を取って口ばかり達者な神父のかけ声に追い立てられましたから。実は「神の民を慰め癒す」ことを神父の目標にしていたのです。「わたしの民を慰めよ」(イザヤ40章1節)という聖書の言葉を大切にしようと、この目標を立てたのですが、今は

有する使命を授けられた」という意味に解すべきではないことは明らかです。何よりも注意しなければならぬことは人間が「神にかたどって」創造されたのは神の「像」そのものとしてではなく、神の像へと向けて創造された、ということ。神の完全な像は、人となり給うた神の御ひとり子イエス・キリストのみである、というのが使徒以来の教会の信仰です。私たちの地上の生は神の、像へと向かう旅路であり、栄光に与って神の像としていただくことを希望しながら旅を続けているのです。他方、神の像となるように創造された、ということはそのように自分自身を形成してゆく働き

カテキズムを学ぶ⑦

人間の創造について

稲垣良典

最初に天地を創造された神は、創造の業の仕上げとして「神にかたどって人を創造された」(創世記1・27)と聖書に記されています。「神の像」Imago Deiとしての人間、という考え方は、キリスト教思想史のなかでは、古代教父時代から聖書に基づく「人間」観として重要な位置をしめ、様々に議論されてきました。最近この考え方は、人間がこの自然界の構成員であり、すべての生物と共生すべきことを無視した「人間中

心主義」であると非難する声も聞かれます。しかし実を言うと神が万物の創り主であり、唯一の主であるという信仰は、けつして神はすべてを独断的に所有し、支配しようとする御方ではなく、むしろ自らを惜しみなく分かち与える恵み深い最高善なのだと思えていてと理解すべきではないかと思えます。そうだとしたら、人間は神の像として創造された、という聖書の言葉も「人間は神のように世界をわが物のごとく支配し、所

反省ばかりです。三月や 終の仕上げに 爪を切る 54年も神父をしておりますと、いろいろな垢が付きます。福岡教区を去るに当たり総仕上げのつもりで、垢のたまった爪を切りました。とりあえず、

心の病・人生の傷・痛みへの力強い薬 神の慈しみのクリニック

四旬節になると、多くの信者の心の中には、不安と戸惑いがだんだん増えてきます。その原因はゆるしの秘跡です。もちろん、四旬節の黙想会に参加するかどうかについて疑問はありません。出来るだけ参加します。しかし、ゆるしの秘跡は、むしろ不要な贈り物のように見えるようです。だから、その秘跡を避けて、少なくとも後に延期してしま

目に見えるところだけでもと思ひまして。爪深く住みついた水虫は手の施しようがないので、長崎へ持ち帰ります。また満つる 冬三日月の消えんとす 宮原司教様、「百年の孤独」ありがとうございました。

心に見えるところだけではなく、目に見えないほこりも健康上よくありません。あらゆる病気の原因となる可能性がります。それで、太陽の光の中に、ほこりの渦巻きを見るとすぐ掃除し始めます。同様に自分の心の中を見てもまじょう。良くないくせ、弱さ、欠点、罪は目に見えないほこりのようにわたしたちの中を一杯にして、一番良い望み、決心などを覆ってしまします。忙しさのためにそれを感じていなくなったり、まだ大丈夫だと言って、自分自身を安心させています。しかし、いつまでこのように暮らすことが出来るでしょうか。ですから、信仰、愛、希望の麻痺、霊的なアレルギー、

心の悩みなどが現れる前に教会は人生を反省し、掃除するように励ましています。氣に入らない症状の場合には神の慈しみのクリニックを提供しています。これはゆるしの秘跡のことです。このクリニックの医者、イエス・キリストは、わたしたちの心も体も正しく整え、必要なら癒す力があります。心の病、一番治りにくい人生の傷、痛み、恐れ、不安などのために力強い薬があります。これは、神の慈しみです。わたしたちの人生の喜ばしい希望を回復させるのは彼しかできません。自分を犠牲にするまでわたしたちに仕える教師であります。患者からは、受診の負担として、真心と正直に打ち明けることだけを求めておられます。

ゆるしの秘跡の中に慈しみ深い神の姿、その働きを見れば、秘跡が辛い義務ではなく、望ましい贈り物と見えるようになります。こうして、この秘跡が好きになるかも知れません。今度も、神の慈しみのクリニックに寄ることを恐れませんかように。

司祭人事異動

【熊本地区】 ◆熊本地区長・手取・帯山教会主任 櫻井尚明(大名町教会主任) ◆大江・崎津教会主任 渡辺隆義(本渡教会主任) ◆健康教会主任 浦川務(久留米教会主任) ◆人吉教会主任 F・マツケイ(鳥栖教会主任) ◆本渡教会主任 川上栄光(門司教会管理者) ◆水俣教会主任 一ノ瀬輝幸(武蔵ヶ丘教会主任) ◆武蔵ヶ丘教会主任 W・デーンニ(手取・八代教会協働) ◆武蔵ヶ丘教会協働 V・アンツアネツロ(島崎・玉名協働) ◆八代教会主任 H・オツカロール(小郡教会主任) 【教区外へ】 ◆長崎教区へ 川添猛(帯山教会主任) ◆ミラノ会管区本部へ G・ブルーニ(黒崎・天神町教会主任) ◆アイルランドへ 帰国 E・ホーガン(水俣教会主任) ◆サバティカル M・エドウィン(高宮教会主任) ◆教区外へ R・アジット(高宮教会) ◆日本カトリック神学院東京キャンパスへ入学 李昇炫助祭(大名町教会) (4月6日付) ◆玉名教会主任 真命山協働 O・ロベス(大分教区) (聖ザベリ才宣教会) (4月27日付) ◆筑後地区長・今村・本郷教会主任 竹森勇(今村教会主任) ◆厳律シトー会伊万里の聖母修道院チャブレン 大木章次郎(長崎教区) (イエスス会) ◆引退・司祭の家へ 畠山七郎(本郷教会主任) ◆アメリカへ 帰国 E・ウイリアム(古賀教会協働) ◆大阪教区へ C・スметット(厳律シトー会伊万里の聖母修道院チャブレン)

【聖なる三日間の黙想会】指導：中村克徳神父(御受難会)
日時：4月17日(木)15:00～20日(日)昼食まで 費用：28,000円
詳細はお問い合わせください。
※消費税率改定に伴い、4月より宿泊料金を改定させていただきます。
一泊3食付き 7,300円→7,650円
カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
〒811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222(9:30～16:30)・Fax 0940-32-3385
Eメール f-mokuso@fmokuso.com (アドレスが変更になりました)

ミサ用ワイン
VINO DE MISA
スイートタイプ(赤)(白)
ご用命 お問い合わせは 有限会社 大楠酒店 ヨハネ 青木 彰
〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち
草苑
カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

第二バチカン公会議による教会④

転任となり引越し直前まで様々な残務整理、と言えは聞こえはいいのですが、実は単に忘れていたり、なかなか手を付けようとしていなかったりした書類や案件の処理に追われました。それでも事務室の机の上まで手が回らず、杉原神父様と谷口神父様と職員の方に全幅の信頼と心からの感謝を込めて雑然としたまま放り出してきました。こういう司祭は司牧的素質に欠けると言われます。

ところで教会の中では「司牧的」という言葉がよく使われます。この言葉は、司祭たちにとっては「司牧的理由」と言えば大抵のことが許される便利な言葉です。また「司牧」と言えば、多くの方が「司祭の仕事」、「信徒のお世話」、「教会内での司祭の管理的仕事」と考えておられるようです。確かにそういう意味で用いられることが多いようです。内外に向けての教会の働きを表現するために「宣教司牧」と言ったりしています。この「司牧的」という言葉は、「わたしは良い羊飼いです」ということを大切にしておられました。公会議は単に教会内

で起っている様々な問題を解決するために、教会の管理者たちが集まって、実践的な事柄について「世直し討議」をするのではなく、教会のすべての要素をイエス・キリストに結び付けるためのものであり、それによって教会と全人類が、神としてお互い同土に一つになるように望まれたのです。例えば、それまではミサは司祭が捧げる者、信徒はそれに与ってお恵みをいただくものという考えでした。しかし、ミサは何よりもイエス・キリストが第一義的な行為者であって、イエス・キリストにキリスト者それ

ぞれが自分の立場で積極的に参加し、役割を分担しながら皆で一つのミサを捧げるという考えとなっていくのです。また教皇の公会議開会に際しての演説の中には、教皇をはじめとして司教たちが自分たちの「力の頼るべくもないことを知って、信頼のすべてをあなた（全能の神）に任せます。」というこぼれが見られます。そして「全信者の力を結集する」とことを望まれました。それまで、あまりにも教皇庁や特に教皇に集中していた決定権を振りかざさずことをできるだけ避けようとしたのです。それは、ある

内での散策をしました。青年たちは交流会の終了後も、インターネットを通して交流を続けているようで、国の違いを越えた本当の出会いができたのではないかと思います。私は、恵まれています。食道癌手術後、10年間消化器系の具合が悪く、死にたくなるほどの腹痛、下痢、拒食、倦怠感、無欲感にさらされています。ある外科医をして「飢餓状態・アウシュビッツ」とまで言われました。朝起きると、今日はどんな辛さが来るのだろう、何を食べたら体の痛みを避けられるのだろうと悩みます。人間の体って不思議なもので、毎日同じような食事をして、同じような動作をして、同じような精神状態にしている、その日によって、お腹が痛かったり、下痢をしたり、きつくて起き上がれなかったり、気分が良くってパソコンの前に座っていたり

「いつも考えていよ！イエーzusだったらどう思ったか、どう言っただか、どう行動したか。…」これが私の毎日の秒刻みの思いです。ちよつときついけど、病後の自分にいつ途絶えるとはわからない自分の

それが自分の立場で積極的に参加し、役割を分担しながら皆で一つのミサを捧げるという考えとなっていくのです。また教皇の公会議開会に際しての演説の中には、教皇をはじめとして司教たちが自分たちの「力の頼るべくもないことを知って、信頼のすべてをあなた（全能の神）に任せます。」というこぼれが見られます。そして「全信者の力を結集する」とことを望まれました。それまで、あまりにも教皇庁や特に教皇に集中していた決定権を振りかざさずことをできるだけ避けようとしたのです。それは、ある

蛇足ですが、決して私の司牧的素質のなさの言い訳を書くつもりはありませんでした。でも、これを書いている途中にさうそく前任教会の事務室から問い合わせの電話がかかってきたものですから。 櫻井尚明神父

春の訪れを感じさせる日和となった3月15日、カテドラル大名町教会において、「博多にきんしゃうい！2」チャリティコンサートが開催された。これは、昨年に続いて今夏も計画されている福島家族支援のための募金活動の一環として行われたものである。第一部は、福岡市内のカトリック幼稚園や中高生あるいはその保護者などによる歌やチェロの演奏で、会場は和やかな雰囲気の中にも、随所に聖書の言葉や祈りが挿入されて、福島の方々とともに祈るという雰囲気を感じられた。休憩時間には、バザー、喫茶ともに盛況で、あちこち

2月21日（金）から25日（火）まで、福岡教区にてカトリック日韓青年交流会が開催された。この交流会はカトリック中央協議会の主催で、毎年交互に双方の国を訪問するカタチで行われていた。今回は、韓国から青年19人、司祭2人、計21名を迎え、日本側は福岡教区の青年をはじめ、東京や大分教区からの参加もあり、日韓合わせて約42名の参加者で行われた。今回のテーマは「Go to Faith」。青年たちが、国を越えた出会いを通して、同じひとつの信仰を再確認していく五日間になりました。

1日目、まだ参加者も緊張した表情のなか、レクリエーションやテーマについての分かち合いが行われ、宮原司教様から日韓司教団の交流と青年交流会の経緯について講話をいただきました。2日目の朝は、浄水通教会にて宮原司教様司式でミサが捧げられ、その後、班ごとに福岡市内のウォークラリーが行われました。各班が、福岡市内の三つの教会を訪問し、神父様や信徒の方々の歓迎に、参加者みな大変喜んでいました。夜はテゼの祈りが行われ、駆けつけた青年たちの素晴らしい演奏もあり、言葉の壁を越えて心ひとつに祈る静かな一時になりました。またこの夜から、中央協の青年部門担当司教でもある郡山司教様が、参加してくださいました。

3日目は、大名町教会にて主日のミサにあずかり、その後、盛大な歓迎会をしていたいただきました。韓国側参加者も、日本の教会の雰囲気になれ、また温かい歓迎をいただいた、とても喜んでいました。その後、大神学院に移動してスポーツ大会が行われ、大縄跳びなどの活動で盛り上がりしました。4日目は、熊本県の帯山教会にて、韓国語でミサを捧げられ、日本側参加者は、慣れない

「いつも考えていよ！イエーzusだったらどう思ったか、どう言っただか、どう行動したか。…」これが私の毎日の秒刻みの思いです。ちよつときついけど、病後の自分にいつ途絶えるとはわからない自分の

それが自分の立場で積極的に参加し、役割を分担しながら皆で一つのミサを捧げるという考えとなっていくのです。また教皇の公会議開会に際しての演説の中には、教皇をはじめとして司教たちが自分たちの「力の頼るべくもないことを知って、信頼のすべてをあなた（全能の神）に任せます。」というこぼれが見られます。そして「全信者の力を結集する」とことを望まれました。それまで、あまりにも教皇庁や特に教皇に集中していた決定権を振りかざさずことをできるだけ避けようとしたのです。それは、ある

内での散策をしました。青年たちは交流会の終了後も、インターネットを通して交流を続けているようで、国の違いを越えた本当の出会いができたのではないかと思います。私は、恵まれています。食道癌手術後、10年間消化器系の具合が悪く、死にたくなるほどの腹痛、下痢、拒食、倦怠感、無欲感にさらされています。ある外科医をして「飢餓状態・アウシュビッツ」とまで言われました。朝起きると、今日はどんな辛さが来るのだろう、何を食べたら体の痛みを避けられるのだろうと悩みます。人間の体って不思議なもので、毎日同じような食事をして、同じような動作をして、同じような精神状態にしている、その日によって、お腹が痛かったり、下痢をしたり、きつくて起き上がれなかったり、気分が良くってパソコンの前に座っていたり

それが自分の立場で積極的に参加し、役割を分担しながら皆で一つのミサを捧げるという考えとなっていくのです。また教皇の公会議開会に際しての演説の中には、教皇をはじめとして司教たちが自分たちの「力の頼るべくもないことを知って、信頼のすべてをあなた（全能の神）に任せます。」というこぼれが見られます。そして「全信者の力を結集する」とことを望まれました。それまで、あまりにも教皇庁や特に教皇に集中していた決定権を振りかざさずことをできるだけ避けようとしたのです。それは、ある



落す姿やあちこちですすり泣く声がマンドリンとのアンサンブルとなった。その後、「いつでも夢を」では、オーケストラの指揮に合わせ会場が一緒に楽しく歌い、最後は福島の方々が一日も早く故郷に戻れますように、また、この福岡が福島の方々にとって第二の故郷になりますようにと出演者、会場一体となって「ふるさと」を唄い、閉演となった。聴衆からは「素晴らしかった」「心が洗われた」「博多にきんしゃうい！頑張つて！」などの言葉が多くかけられ、主催者を励ます姿が見られた。

2日目の朝は、浄水通教会にて宮原司教様司式でミサが捧げられ、その後、班ごとに福岡市内のウォークラリーが行われました。各班が、福岡市内の三つの教会を訪問し、神父様や信徒の方々の歓迎に、参加者みな大変喜んでいました。夜はテゼの祈りが行われ、駆けつけた青年たちの素晴らしい演奏もあり、言葉の壁を越えて心ひとつに祈る静かな一時になりました。またこの夜から、中央協の青年部門担当司教でもある郡山司教様が、参加してくださいました。

3日目は、大名町教会にて主日のミサにあずかり、その後、盛大な歓迎会をしていたいただきました。韓国側参加者も、日本の教会の雰囲気になれ、また温かい歓迎をいただいた、とても喜んでいました。その後、大神学院に移動してスポーツ大会が行われ、大縄跳びなどの活動で盛り上がりしました。4日目は、熊本県の帯山教会にて、韓国語でミサを捧げられ、日本側参加者は、慣れない

「いつも考えていよ！イエーzusだったらどう思ったか、どう言っただか、どう行動したか。…」これが私の毎日の秒刻みの思いです。ちよつときついけど、病後の自分にいつ途絶えるとはわからない自分の

それが自分の立場で積極的に参加し、役割を分担しながら皆で一つのミサを捧げるという考えとなっていくのです。また教皇の公会議開会に際しての演説の中には、教皇をはじめとして司教たちが自分たちの「力の頼るべくもないことを知って、信頼のすべてをあなた（全能の神）に任せます。」というこぼれが見られます。そして「全信者の力を結集する」とことを望まれました。それまで、あまりにも教皇庁や特に教皇に集中していた決定権を振りかざさずことをできるだけ避けようとしたのです。それは、ある

内での散策をしました。青年たちは交流会の終了後も、インターネットを通して交流を続けているようで、国の違いを越えた本当の出会いができたのではないかと思います。私は、恵まれています。食道癌手術後、10年間消化器系の具合が悪く、死にたくなるほどの腹痛、下痢、拒食、倦怠感、無欲感にさらされています。ある外科医をして「飢餓状態・アウシュビッツ」とまで言われました。朝起きると、今日はどんな辛さが来るのだろう、何を食べたら体の痛みを避けられるのだろうと悩みます。人間の体って不思議なもので、毎日同じような食事をして、同じような動作をして、同じような精神状態にしている、その日によって、お腹が痛かったり、下痢をしたり、きつくて起き上がれなかったり、気分が良くってパソコンの前に座っていたり

それが自分の立場で積極的に参加し、役割を分担しながら皆で一つのミサを捧げるという考えとなっていくのです。また教皇の公会議開会に際しての演説の中には、教皇をはじめとして司教たちが自分たちの「力の頼るべくもないことを知って、信頼のすべてをあなた（全能の神）に任せます。」というこぼれが見られます。そして「全信者の力を結集する」とことを望まれました。それまで、あまりにも教皇庁や特に教皇に集中していた決定権を振りかざさずことをできるだけ避けようとしたのです。それは、ある

教区年間目標「信仰の伝達」

福岡地区聖書講座

年間テーマ：旧約聖書に親しむ

日 時：5月18日（日） 14:00～16:00

講 師：ベリオン神父（行橋教会）

テーマ：原初史（創世記1～11章）を読む

場 所：カトリック大名町教会1階講堂

主 催：福岡地区信徒使徒職協議会 聖書典礼部会

北九州地区聖書講座

年間テーマ：～イエス・キリストに従って歩む教会～
開かれた共同体へ：「使徒たちの宣教」

第3回 「福音」を宣べ伝える教会

～パウロを中心に～

日 時：6月29日（日） 14:00～16:30

講 師：講師未定

場 所：カトリック小倉教会

主 催：北九州地区信徒使徒職協議会 聖書部会

糸島教会聖堂改築・信徒会館落成
1周年チャリティコンサート

日 時：4月12日（土）15時より

場 所：カトリック糸島教会聖堂

入場料：入場無料（自由献金）

ソプラノ歌手松竹玲奈さんを迎え、多くの信徒が参加する手作りコンサートです。

献金の一部は東日本大震災関連の寄附に充てられます。

問合せ先：☎ 092(327)3210

震災のための祈りのリレー

日 時：4月11日（金）6：30 ミサ～19:00 夕の祈り

場 所：城山教会

問合せ先：fr05abe19ko@yahoo.co.jp /Br 阿部光一

カトリック正義と平和
全国集会福岡大会

テーマ：いのちを大切に社会を目指して

ー見て、聞いて、知って、働くー

日 程：2014年9月13日（土）～15日（月）

場 所：カトリック大名町教会を中心に

対 象：すべての信者

内 容：講演会、現地学習、分科会、シンポジウムなど

参加費：全日1000円

申込み：現地学習、分科会に参加希望の方は申し込みを必ず
お願いします。詳細は4月上旬に各教会に送られるちらし、
案内書を御覧ください。

子どもたちとともに主日の福音を『こじか』2014年度

毎週日曜日発行（年44週）B5判・16頁（ふりがなつき）

定価65円＋税（送料別）＊15部以上のご注文は55円＋税。

国内年間定期購読（年44週分）1部4100円／2部7400円（税・送料込）

カトリック通信講座 神・発見の手引

神について、人生、自然などの具体例や哲学者の言葉を通して考えます。全15講 受講料4500円

生きること・死ぬこと

現代社会の状況のなかで、「いのち」について考えます。全10講 受講料5000円

お申し込み、お問い合わせ、見本誌請求は下記にどうぞ

オリエンス宗教研究所

〒156-0043 東京都世田谷区松原2-28-5

電話：03-3322-7601／Fax：03-3325-5322

http://www.oriens.or.jp/

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

4月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 4月

31日（月）～ 4月4日（金） オブレート会会議 （空室0）

17日（木）～ 20日（日） 聖なる3日間の黙想会（募集中）

26日（土）～ 29日（火） 日本心身医学協会 （空室15）

5月

8日（木） 聖公会黙想会（日帰り）

8日（木）～ 10日（土） 本田神父と語る会 （空室10）

10日（土）～ 11日（日） 福岡黙想の家講演会黙想会（募集中）

※消費税率改定に伴い、4月より宿泊料金を改定させていただきます。

一泊3食付き 7,300円→7,650円

＊利用予定によっては充分余裕がある場合があります。

＊宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 ☎0940・32・3385

Email: f-mokuso@fmokuso.com（アドレスが変更になりました）

真命山諸宗教対話・靈性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：聖母マリアと共に祈る

・日 時：4月10日（木）10時～15時

・内 容：羊飼いたちや博士たちの訪問をお受けになった
時の聖母マリアの祈り

指 導 者：フランコ・ソットコルノラ神父（真命山院長）

問合せ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター

☎0968・85・3100 ☎0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦

1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：4月5日、19日、5月3日（土）10時～12時

場所：カトリック大名町教会小聖堂

福 岡

◆聖霊による刷新福岡祈りの集い

〔日時〕毎週月曜11時（場所）
大名町教会1階（内容）賛美
と感謝の祈り・聖書のわかち
あい（問合せ先）☎092・
521・2503 蓮尾

◆在世フランススコ会集会

〔日時〕4月6日（日）14時（場
所）高宮フランススコ会修
道院在世会集会所（指導）エ
ドウィン神父（問合せ先）☎
092・843・5831 岩崎

◆福岡地区青年会定例会

〔日時〕4月13日（日）14時（場
所）大名町教会（問合せ先）☎
090・5298・9350 豊嶋

◆グレゴリオ聖歌を歌う会

〔日時〕4月15日（火）11時（場
所）聖クララ寮（内容）復活
の続唱（問合せ先）☎096・
380・5686 塚

◆カルメル在世会集会

〔日時〕4月21日（月）10
時30分（場所）福岡女子カ
ルメル会修道院（内容）ミ
サ・講話（指導）カルメ
ル会司祭（問合せ先）☎
095・828・2353 鶴池

◆聖書に集う会

〔日時〕4月24日（木）18時30
分（場所）サンパウロ福岡宣
教センター3階会議室（講師）
鈴木信一神父（聖パウロ会）

（問合せ先）☎092・721・
2031 聖パウロ修道会

◆ラスキン黙想と祈りの集い

〔日時〕4月25日（金）20時（場
所）大名町教会小聖堂（問合
せ先）☎090・2305・
5191 ブラザー阿部

◆カトリック正義と平和全国
集会福岡大会実行委員会

〔日時〕4月27日（日）14時30
分（場所）カトリック大名町
教会（問合せ先）☎093・
871・3019

◆心の健康セミナー

〔日時〕5月25日（日）14時（場
所）福岡黙想の家ログハウス
（テーマ）超高齢化社会の到
来と教会・キリスト者（講師）
小宮豊氏（精神科医）（参加費）
感謝献金（問合せ先）☎094
0・32・1173 矢田

◆美野島司牧センター

あなたの勇気が路上のいのち
を支えます！
●ホームレスの方に手作りお昼
ごはん・毎週火曜日10時30分●
越冬期ホームレス支援夜回り・
毎週金曜日20時・1月3日は
休み●路上からアパートに入居
した方を訪問・第3土曜日13時
（問合せ先）☎092・431・
1419 M・コース神父

北九州

◆北九州召命を共に祈る会

〔日時〕4月10日（木）14時（場
所）

（所）カトリック小倉教会（内
容）祈りとミーティング（連
絡先）☎0949・24・9
905 藤井

◆小倉祈りの集い

〔日時〕4月25日（金）13時30
分（場所）カトリック小倉教
会（指導）ガブリエル神父（御
受難会）（連絡先）☎090・
3985・5209 松田

佐 賀

◆佐賀祈りの集い

〔日時〕4月5日（土）10時・
毎月第一土曜日（場所）佐賀
カトリック会館（問合せ先）
☎0952・30・8347
吉武

熊 本

◆熊本地区召命を共に祈る会

〔日時〕4月24日（木）11時（場
所）健軍教会（司式）浦川勉
神父（問合せ先）健軍教会☎
096・368・2825 浦
川神父

北九州

◆北九州召命を共に祈る会

〔日時〕4月10日（木）14時（場
所）

編集後記

3月の聖書講座で、フラン
シスコ教皇の回勅「信仰の
光」9番にある「未来の記憶」
という言葉について考えまし
たが、その意味を明確にお伝
えできませんでした。「記憶」

という言葉は過去について言
われるのではないか。なぜ、
教皇様は「未来の記憶」とい
う言葉を使われたのか、確か
に私たちのミサは単に過去の
出来事を追憶するにすぎない
祭儀のことではない。その意
味では何となく分かるのです
が、どうもしっくり来ません
でした。そこでシスター岡立
子（聖母の騎士修道会）に尋
ねたところ、以下のような回
答が寄せられましたので、一
部紹介します。

聖母マリアは過去の歴史
の、ある一時期に、ある場所
で生きた、というだけの「過
去の人物」ではなく、神の民
の歴史の中で、時を越え、空
間を越え「普遍」な姿となる
と。

マリアへの、天使のお告げ
は、だから、過去にだけ閉じ
込められる「記憶」ではなく、
神の民の「現在」、「未来」を
開く「記憶」となります。

アブラハムへの神の約束
（創世記12章1節）は、神
の民への「約束」（子孫は無
数に広がり、彼は大きな民の
父となるだろう）であるがゆ
えに、過去にとどまらない。
それは、「故郷から出なさい」
という「呼びかけ」である
と同時に、「予期しない未来」
へとアブラハムを導く「脱
出」でもあるわけです。先行
するみことばへの答えである
以上、アブラハムの信仰は、
つねに記念の行為です。しか
しこの「記念（記憶）」は「過
去」にくぎ付けにならない。
なぜなら、「約束」の「記憶」
であるから、その記憶は「未
来」を開き、前に（未来に）
続く道を照らすことができる
ものとなる、と。約束とは、
常にそれが実現される未来に
向かって開いているのですか
ら、ゆえに、「未来の記念（記
憶）」と言う言葉が出て来ま
す」と。教区報も未来の記
憶を大切に保存し、伝えて
いきたいと思っています。

COSMOS

スポーツ用品・OA・文具 コスモス

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3

TEL 0942-77-3199

代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院

医科・歯科臨床研修指定病院
地域医療支援病院
救命救急センター

総合周産期医療センター
がん診療連携拠点病院
地域災害拠点病院

＊入院基本料（一般病棟7:1）

〒830-8543

福岡県久留米市津福本町422

TEL0942-35-3322(代表)

FAX0942-34-3115

http://www.st-mary-med.or.jp

一緒に働きませんか？

=募集=

医師・看護師・医療技術職

痛みの相談室
いくま整骨院

平日：9:30～12:00

14:30～20:00

土曜：9:30～15:00

休診：日曜・祝祭日

福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F

TEL 092-884-0134

ペトロ 生熊吉古



ともにたたえ

告知らせよう！

主・キリストは復活された！

4月の休業日 6、13、20、27、29

サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土)／日・祝日休業／地下鉄赤坂駅より徒歩3分＊駐車場完備

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax 739-3930